

出版指標

NEWS RELEASE

公益社団法人 全国出版協会

出版科学研究所

2026 年上半期(1～6月期)出版市場

紙＋電子は 1.3%減の 7,664 億円、紙が 3.1%減、電子が 2.0%増

出版業界の調査研究機関である（公社）全国出版協会・出版科学研究所（所在地：東京都新宿区 理事長：近藤敏貴）は、2026 年上半期（1～6 月期累計）の出版市場規模を『季刊 出版指標』2026 年夏号（7 月 24 日発売）で発表。紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、前年同期比 1.3%減の 7,664 億円。紙の市場は同 3.1%減、電子出版は同 2.0%増となりました。

紙市場は 4,797 億円、書籍は 2.7%減、雑誌は 3.8%減

2026 年上半期の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年同期比 3.1%減の 4,797 億円。前期 25 年上半期（4.9%減）や 25 年年間（4.1%減）に比べ減少は緩やかになりました。書籍は、前年同期比 2.7%減の 3,047 億円と今期はマイナスになりましたが、既存店における店頭 POS 売れ行きは文芸書を筆頭に好調を維持しています。雑誌は同 3.8%減の 1,751 億円。月刊誌（ムック、コミックス含む）が同 2.8%減の 1,517 億円、週刊誌が同 10.2%減の 234 億円。月刊誌の内訳は定期誌が約 1%減、ムックがほぼ前年並み、コミックスが約 7%減。前年の大手コンビニエンスストアの帳合変更、『週刊ダイヤモンド』の書店販売終了などから一巡。月刊誌は、定期誌が約 1%減と健闘し、紙コミックスも下げ幅が縮小しました。

電子出版市場は 2,867 億円、コミックは 2.5%増、書籍は 2.1%減、雑誌は 4.7%減

2026 年上半期の電子出版市場は同 2.0%増の 2,867 億円。内訳は電子コミックが同 2.5%増の 2,593 億円、電子書籍が同 2.1%減の 233 億円、電子雑誌が同 4.7%減の 41 億円でした。電子コミックは、伸び率の鈍化は進んでいますが、今期は大型の周年企画が多く、割引・ポイント還元や全話無料施策などキャンペーンがさらに活発になり、販売を押し上げました。

電子書籍は、24 年以降微増が続いていましたが、今期はマイナスに。ライトノベルは好調でしたが、一般文芸やビジネス書が不振でした。電子雑誌は、サブスクリプションの会員減と、有力誌の休刊・刊行変更が相次ぎ、減少が続いています。

■上半期（1～6月期）紙と電子の出版物推定販売金額

単位：億円、%

		2022 年 1～6 月期	2023 年 1～6 月期	2024 年 1～6 月期	2025 年 1～6 月期	2026 年 1～6 月期	占有率
					前年同期比	前年同期比	
紙	書籍	3,526	3,284	3,179	3,132	98.5	39.8
	雑誌	2,434	2,197	2,025	1,820	89.9	22.8
	紙合計	5,961	5,482	5,205	4,952	95.1	62.6
電子	電子コミック	2,097	2,271	2,419	2,530	104.6	33.8
	電子書籍	230	229	234	238	101.7	3.0
	電子雑誌	46	42	44	43	97.7	0.5
	電子合計	2,373	2,542	2,697	2,811	104.2	37.4
紙＋電子	紙＋電子合計	8,334	8,024	7,902	7,763	98.2	100.0

※合計は四捨五入の関係で一致しない ※電子コミック誌は電子コミックに含む

※電子出版市場は読者が支払った金額を推計したもの。広告収入・電子図書館等は含まない。雑誌の定額制読み放題サービスを含む。



『季刊 出版指標 2026 年夏号』

頁数：85 ページ

判型：B5 判

発売：2026 年 7 月 24 日（年 4 回 25 日発売）

頒価：4,400 円（本体 4,000 円＋税）送料別

[第 1 特集] 2026 年上半期 書籍・雑誌分野別動向

[第 2 特集] 2026 年上半期 電子出版市場

[第 3 特集] 大型書店インタビュー ～話題の 4 書店に訊く

<本件に関するお問い合わせ>

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当：原・林

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町 6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

<https://www.shuppankagaku.com>